

社会資本総合整備計画  
海老名市都市公園における多様化機能の創出  
事後評価書

平成30年2月

神奈川県 海老名市

## 社会資本総合整備計画

資料2-2

計画の名称	海老名市都市公園における多様化機能の創出		
計画の期間	平成24年度～平成28年度（5年間）	交付対象	海老名市
計画の目標			

近年、市民の生活意識の向上により市民のニーズも多様化し、課題対応への明確化、迅速化及び透明化が求められている。

このような中、日常生活に身近な公園についても遊具等の整備やレクリエーション、学習や教育の場の充実のほか、緊急時の防災公園としての整備など快適空間の充実及び防災機能の向上により、安全・安心の都市環境の形成を目指す。

また、老朽化した施設等の改修を行い、利用者の安全性の確保や使用環境・快適性を向上させるとともに、高度スポーツ誘致などを目指す。

### 計画の成果目標（定量的指標）

- ・地震等災害時の地域防災拠点に対応した施設の強化を図ることで、市民の災害に対する市民の安全・安心に対する満足度を22%から24%に上昇する。
  - ・防災機能のある公園を整備する。
  - ・老朽化した運動公園野球場のスコアボード改築や公園灯の改修を行なうことで、下落傾向にある利用者数を300,000人/年を維持するとともに、使用環境や安全性を向上させ、プロ野球及びアマチュア野球などの高度スポーツや全国規模の大会を誘致する。
  - ・都市公園の既存施設について、健全度や利用実態を把握し、長期的な視点に立った長寿命化計画を策定し、計画をもとに遊具の改築・更新を行う。

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値	中間目標値	最終目標値	
(H24)			(H28)	
市が実施する「市政アンケート」を基に、対象地区の「火災や自然災害に対する体制・対策」についての満足度を測定する。	22%		24%	
仮設トイレやかまど、災害時の緊急車両出入口等のある公園を整備する。	0箇所		2箇所	
海老名運動公園の利用者数を測定する。	300,000人/年		300,000人/年	
野球競技における高度スポーツや全国規模の大会等を誘致する。	1回/年		3回/年	
長寿命化計画策定率 (%) 計画策定済み公園/計画策定対象公園数 (53公園)	0%		100%	
都市公園施設改築・更新率 (%) 更新遊具施設数/更新対象遊具施設数 (136遊具)	0%		28%	
全体事業費	合計 (A+B+C)	306百万円	A 252百万円 B 0百万円 C 54百万円	効果促進事業費の割合 (A (提案分) +C) / (A+B+C)
				17.6%

#### ○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期 計画期間終了翌年度の平成29年度に実施
社会資本総合整備計画の事後評価として海老名市が実施	公表の方法 評価完了後、市のホームページへ掲載

## 1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A1 基幹事業

番号	一体的に実施することにより期待される効果

C 効果促進事業

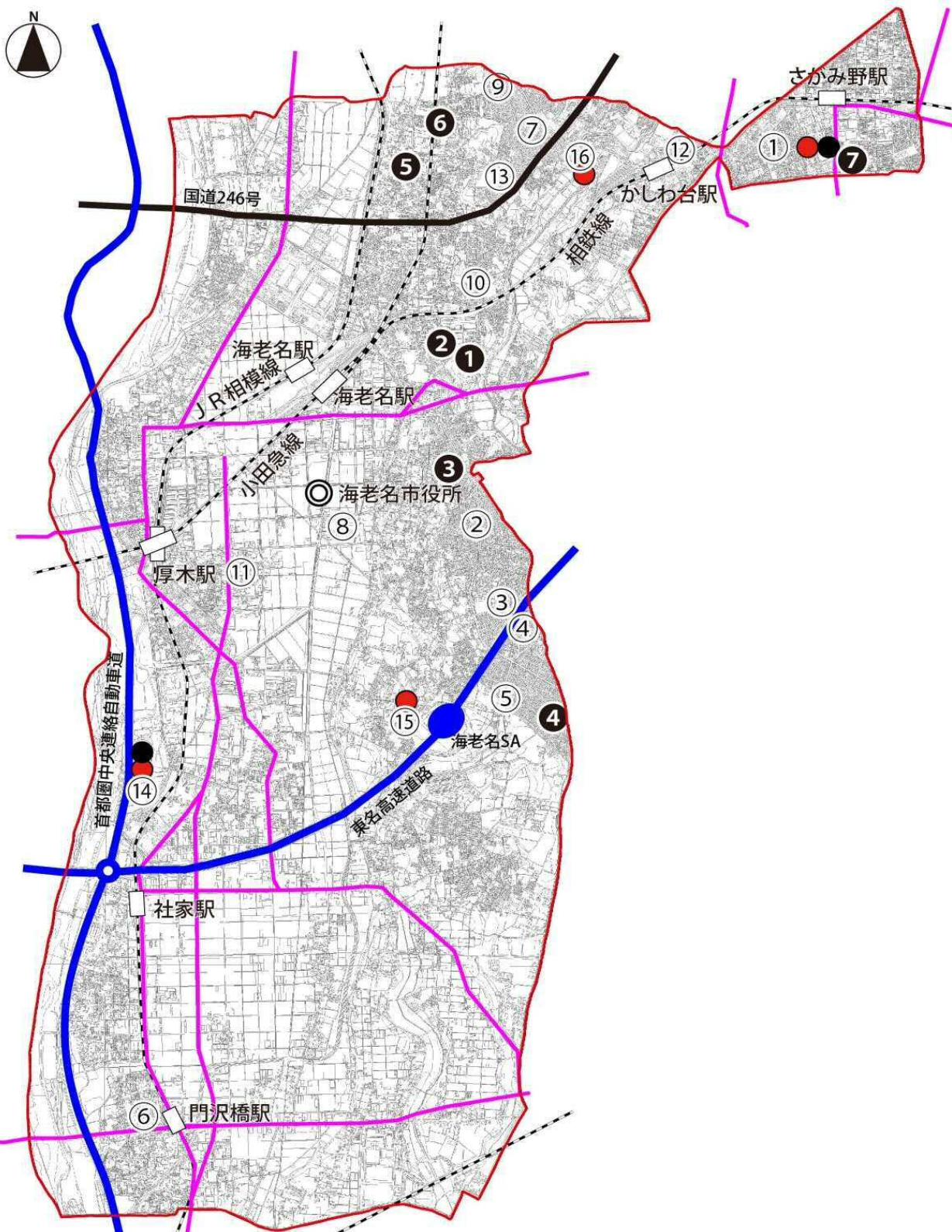
番号	一体的に実施することにより期待される効果
1-C-1	仮設トイレやかまどベンチなどを1-A-1（海老名市都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業）と一体的に実施することにより、防災対策効果の向上を図る。
1-C-2	都市公園以外の公共施設緑地を1-A-3（海老名市公園施設長寿命化対策支援事業）と一体的に実施することにより、公園等利用者の安全強化を図る。

## 2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

Ⅰ 定量的指標に関する 交付対象事業の効果の発現状況		<p>・災害時に対応した公園での防災対策や施設の改築更新等が着実に実施されたことで、火災や自然災害に対する体制・対策についての満足度が目標値を上回った。</p> <p>・海老名運動公園において総合体育館等の施設の充実と、各種遊戯施設の改築更新充実が行われ、さらに、高度スポーツの誘致に努めたことから、利用者が目標値を大きく上回った。</p> <p>・公園施設長寿命化計画が策定され、年次計画に基づき実施している。</p>			
Ⅱ 定量的指標の達成状況	指標①「市政アンケート」を基に、対象地区の「火災や自然災害に対する体制・対策」についての満足度	最終目標値	24%	目標値と実績値に差が出た要因	東柏ヶ谷近隣公園における防災機能の強化や日頃の海老名市の災害に対する取り組みが評価されたため。
		最終実績値	27%		
	指標②仮設トイレやかまど、災害時の緊急車両出入口等のある公園整備	最終目標値	2箇所	目標値と実績値に差が出た要因	ほか1箇所については、市町村自治基盤強化総合補助金事業で実施したため。
		最終実績値	1箇所		
	指標③海老名運動公園の利用者数	最終目標値	300,000人/年	目標値と実績値に差が出た要因	海老名運動公園における施設改築等の成果が現れたため。
		最終実績値	約400,000人/年		
	指標④野球競技における高度スポーツや全国規模の大会等誘致	最終目標値	3回/年	目標値と実績値に差が出た要因	毎年誘致していたプロ野球球団に組織変更があり、当球場の利用がなかったため。
		最終実績値	2回/年		
	指標⑤長寿命化計画策定率	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	100%		
	指標⑥都市公園施設改築・更新率	最終目標値	28%	目標値と実績値に差が出た要因	一部更新予定遊具の生産中止や利用者ニーズに沿った遊具（同等品）の採用により単価の高い遊具となったこと、また震災復興需要等から鋼材・人件費等が大きく上昇したこと、予定より更新できる遊具数が減ってしまったため。（最終目標値 163箇所中38箇所 → 最終実績値 163箇所中28箇所）
		最終実績値	21%		

Ⅲ定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況(必要に応じて記述)	・海老名市都市公園安全・安心対策事業の実施により、公園利用者の安全性、快適性が図られつつある。 ・公園内での防災備蓄倉庫の配置や仮設トイレやかまどベンチ等の設置により、地域防災機能の充実が図られつつある。
2. 特記事項(今後の方針等)	公園施設長寿命化計画策定調査計画で策定された年次計画に基づき、着実に公園施設等の改築更新を推進し、安心・安全な都市公園づくりを推進させる。

計画の名称	海老名市都市公園における多様化機能の創出
計画の期間	平成24年度～平成28年度
交付対象	海老名市



### ● 1-A-1 海老名市都市公園安全・安心対策事業

#### 1-A-3 海老名市都市公園安全・安心対策事業(対象公園)

- ①柏ヶ谷第一児童公園(東柏ヶ谷二丁目1678番5)
- ②国分寺台第一児童公園(国分寺台一丁目4124番148)
- ③国分寺台第二児童公園(国分寺台二丁目5417番48)
- ④国分寺台第三児童公園(国分寺台三丁目5345番63)
- ⑤国分寺台第四児童公園(国分寺台四丁目5137番235)
- ⑥門沢橋第一児童公園(門沢橋二丁目2138番1)
- ⑦上今泉第二児童公園(上今泉五丁目19番27)
- ⑧大谷第一児童公園(大谷北一丁目40番3)
- ⑨上今泉神後谷児童公園(上今泉五丁目39番1)
- ⑩国分第一児童公園(国分北三丁目3360番1)
- ⑪大島記念公園(中新田一丁目1529番3)
- ⑫柏ヶ谷長ヲサ児童公園(柏ヶ谷967番12)
- ⑬星谷児童公園(上今泉一丁目6番45)
- ⑭海老名運動公園(社家4032番1)
- ⑮大谷近隣公園(大谷南四丁目3285番)
- ⑯北部公園(上今泉六丁目340番1)

### ● 1-C-1 防災機能促進事業

#### 1-C-2 公共施設緑地施設改築・更新(対象公共施設緑地)

- ①国分やまに平第二児童遊園(国分南二丁目1697番2)
- ②国分逆川団地児童遊園(国分南二丁目1792番19)
- ③国分南原児童遊園(国分南三丁目1062番95)
- ④国分寺台鍛冶返児童遊園(国分寺台五丁目5137番123)
- ⑤上今泉第二児童遊園(上今泉二丁目1499番5)
- ⑥上今泉第一児童遊園(上今泉四丁目949番41)
- ⑦東柏ヶ谷東原第三児童公園(東柏ヶ谷五丁目1418番73)